

# 新生八女市へ

平成22年



新八女市のキャッチフレーズ「茶のくに八女・奥八女」がかかげられた会場には、関係者約150人が出席



本庁で開庁式 平成22年2月1日  
新八女市誕生を祝い、くす玉が割られる。



八女市役所立花庁舎開所式



八女市役所  
黒木総合支所  
開所式



八女市役所  
矢部支所  
開所式



八女市役所  
星野支所開所式

八女市、上陽町、黒木町、立花町、矢部村、星野村は、もともと旧八女郡を構成しており、未来に向けて地域の活性化を進めるために広域的な連携を求める声が次第に高まっています。平成18（2006）年10月に、まず上陽町が八女市と合併。続いて、平成22（2010）2月に、黒木町、立花町、矢部村、星野村と合併し、新生八女市が誕生。旧町役場、村役場は支所として開所することになりました。合併後の市域面積は482.53平方キロメートルとなり、福岡県内では北九州市に次いで2番目に大きい市となりました。

八女市の新しいキャッチフレーズは、「茶のくに八女・奥八女」。魅力ある観光地を目指すため、「茶のくに八女のおもてなし宣言」も発表されました。平成22年10月には、「全国茶品評会」の玉露の部で、上陽町の金子守さんが農林水産大臣賞を受賞。八女茶は10年連続で玉露の部の日本一を達成し、合併に花を添えました。



八女市観光コンセプト「茶のくに八女・奥八女」により、市内で活躍中の女性による「おもてなし宣言」。 平成22年



西日本短期大学附属高校が6年ぶり5回目の夏の甲子園大会出場を決め、市役所を訪問。3回戦まで進み、大きな感動を与えてくれた。 平成22年



今福工業団地に「ホクト株式会社」福岡八女きのこセンター（九州最大規模）が竣工された。 平成22年



タキロンポリマー本社・工場が今福工業団地に進出。 平成23年



九州工業大学と包括的連携協定を締結。その後八女バンブーバレー実証研究センターが旧迎春中学校跡地に開設。 平成23年



大韓民国巨済市との姉妹都市協定締結 平成24年



福岡市天神の渡辺通りにアンテナショップ「八女本舗」がオープン。 平成25年



NHK福岡発地域ドラマ「苦くて甘いー希望の茶ー」放送 平成25年